

資料 1 確保方策について

(1) 認定こども園 あくね園の認可定員変更について

① 保育部会に提案された認可定員

ア 認可定員(平成26年度)

施設種別	認可定員
教育施設(1号)	120
保育施設	20
計	140

イ 変更認可定員(平成27年度)

施設種別	認可定員	現行との比較
教育施設(1号)	60	-60
保育施設	70	50
2号	30	-
3号	40	-
計	130	-10

② 保育部会における意見等

- 50人増加し、70人の保育所が市内にできると想定すれば、同じ地区内にある施設として今後の運営に危機感をおぼえる。
- 過去5年間の実員及び現在の実員(在籍児童数)を基本として考えなければならないのではないか。認可定員は今回の定員で定め、利用定員については、過去の実数を基に認可定員の範囲で調整等を行われれば、運営もうまくいくのではないか。
- 少子化が進むなかで、市全体の就学前児童数等勘案して、保育施設に係る減員が妥当ではないか。



- 上記を受けてあくね園については、保育施設の認可定員の減員を基本とし、認可定員を再考する。
- 再考があった場合はこれについて子ども・子育て会議で承認を受ける。

③ 保育部会協議後の認可定員(今回協議分)

イ 変更認可定員(平成27年度)

施設種別	認可定員	現行との比較	保育部会との比較
教育施設(1号)	65	-55	5
保育施設	60	40	-10
2号	25	-	-5
3号	35	-	-5
計	125	-15	-5

(4) 子ども・子育て支援事業計画における本市の確保方策について

① 1号認定・・・教育標準時間（3歳以上）の利用

		実績	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み ①		147	160	160	160	150	140
確保 方策②	認定こども園・幼稚園	—	155	155	155	155	155
	確認を受けない幼稚園	—	0	0	0	0	0
②-①		—	▲ 5	▲ 5	▲ 5	5	15
確保方策の内容		平成26年度から幼保連携型認定こども園が1園増加し、教育・保育の必要量の拡大を図りました。					

② 2号認定・・・保育認定（3歳以上）の利用

		実績	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み ①		313	290	280	270	260	260
確保 方策②	認定こども園	—	2	2	2	2	2
	保育所	—	278	278	273	273	268
②-①		—	▲ 10	0	5	15	10
確保方策の内容		平成27年度から認定こども園2園及び私立保育所1か所について、認可定員を増加します。					

③ 3号認定・・・保育認定(3歳未満)の利用

ア 0歳児

		実績	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み ①		33	60	60	50	50	45
確保 方策②	認定こども園	—	8	8	8	8	8
	保育所	—	52	52	47	47	47
	地域型保育	—	0	0	0	0	0
②-①		—	0	0	5	5	10
確保方策の内容		平成27年度から認定こども園2園及び私立保育所1か所について、認可定員を増加します。					

イ 1・2歳

		実績	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み ①		193	190	180	180	180	175
確保 方策②	認定こども園	—	50	50	50	50	50
	保育所	—	160	160	160	160	155
	地域型保育	—	0	0	0	0	0
②-①		—	20	30	30	30	30
確保方策の内容		平成27年度から認定こども園2園及び私立保育所1か所について、認可定員を増加します。					

④ 全体

		実績	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み ①		686	700	680	660	640	620
確保 方策②	認定こども園	—	215	215	215	215	215
	保育所	—	490	490	480	480	470
	地域型保育	—	0	0	0	0	0
②-①		—	5	25	35	55	65

資料 2

阿久根市子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリック・コメントについての実施結果について

- 1 実施期間 平成27年2月3日（火）から2月25日（水） 23日間
- 2 御意見数 1名
- 3 意見内容及び市の考え方について

意見内容	市の考え方	計画への反映方法
<p>ファミリーサポートセンターについて</p> <p>試験導入はいつごろだったのでしょうか？判断するために年度の記載が必要だと思います。</p> <p>以前、ニーズ、会員の少なさがネックで試験導入から進まなかったようですが、今あると助かります。</p> <p>「子育ては家族だけでする時代ではない」と海外レポートで見たことがあります。そう臆することなく言える社会や仕組みが地域にあると助かります。</p>	<p>ファミリーサポートセンターの試験導入については、平成15年度に実施し、会員数が依頼者・提供者併せて75名と、当時の補助事業基準である会員数300名以上との差があり、以降実施されていませんでした。</p> <p>今後の実施については、ニーズの増加及び事業実施可能なNPO法人との協議等の上、検討してまいります。</p> <p>また、地域と協働して、子育て支援ができる体制についても、今後検討していきたいと考えております。</p>	<p>ファミリー・サポート事業試験実施年度の追加。</p>
<p>委員名簿について</p> <p>H27年度からの計画に不在の人が委員名簿に掲載されています。更新されますか。</p>	<p>名簿については、発足当時から現在までの委員の方全てを掲載しております。（定員20名）</p> <p>なお、現在委員でない方及び今年度から委員の任命を受けた方につきましては、任期を記載しています。</p>	<p>全委員の任命期間の記載</p>

計画策定にあたり、貴重な御意見をありがとうございました。